

四天王寺夕陽丘保育園

日常の保育及び、園行事において感染症対策を講じながら、すべて予定通り実施することができ休園措置なく保育運営することができました。子どもたちの健やかな育ちを願う保育の質のあり方において職員間の共通理解では、今後も計画的に継続した取り組みが必要となりました。

地域に向けて感染予防対策は継続のため、保育機能を生かす機会は少なく、次年度のとりくみ課題となりました。

～事業活動報告～

(1) 乳幼児保育

- ・ 保育園全体で月1回行っていた誕生会を、一人ひとり特別な日として工夫し取り組みました。本園、分園の隔たりなく、友だちの喜びを分かち合う取り組みになりました。
- ・ 主体的な保育を進めるためのケース検討会を実施しましたが、状況報告から改善活動の検討を進めていくことが課題となりました。
- ・ 異年齢間で関わり合える時間を設定し、互いに主体的な活動意欲を尊重したことで日常の園生活で育ちあいの場が広がり、その経験を活かして園外行事を充実することができました。
- ・ 関係機関、医療機関と連絡、連携しながら、保護者、看護師、保育士、栄養士で連携を図り支援を実施し、保育環境の中で自ら持つ力を引き出せる結果となりました。

(2) 地域支援活動

- ・ 情報内容の準備を進めるも地域向け配信をできずにいましたが、配信機能を整え次年度から実施します。
- ・ 感染症の影響により、予定通りの行事が実施できなかったが、可能な限り園庭開放や電話相談に応じました。

(3) 人財育成

- ・ 新任職員、中堅職員、キャリアのある職員が互いに話し合い、意見を表出できる場・検討しあう場を設け、相手を認め、自らが認められる経験につながり、働きやすい環境を目ざしたとともに、保育のヒントにもつながる結果となりました。
- ・ 個々のキャリア形成に向けた研修参加は計画的に行えましたが、互いが学び合う環境作りが不十分であったため、職員自らチャレンジしてみようとする働きかけが課題となりました。
- ・ 保育体制が整わず、日々の保育運営を優先したため、園内研修の場を持つことができませんでした。

(4) リスク対応・環境整備

- ・ 分園に関して関係機関に打診を行い施設全体の運営を視野に入れて検討継続していきます。また、育休制度の充実など情勢も鑑み、今後の保育の方向性と合わせて検討します。
- ・ 保育環境を整えるため、昇降機、遊戯室幕の改修を行いました。
- ・ 老朽化した昇降機の改修を行い厨房環境整備を行いました。豊かな食事提供のための厨房機器の導入や、配置などの環境作りは今後の課題になりました。

～改善活動～

- ・ 複数社の聞き取りを行うことで、新たな施設の環境課題が見えてきました。また、情勢も鑑み

よりよい給食提供の観点から、次年度も検討を重ねていくこととしました

- 手引き書の基となる、全体的な保育計画の改定に時間を費やし、手引き書作成は次年度に取り組み継続としました。